

全ての工事現場へ

未来のために 職場環境の改善を

建設現場の「常識」を変えよう。

国土交通省は「快適トイレ（男女ともに快適に使用できる仮設トイレ）」の設置原則化に向け、これまで女性技術者などに不評だった工事現場の仮設トイレに新しい基準（標準仕様）を設定した。従来の和式ではなく、水洗機能が付いた洋式便座で防臭対策や施錠の強化を実施することが柱となる。

建設業界では、官民一体となり最大の課題である担い手確保のため社会保険の加入促進や週休2日制の実現、女性の活躍推進など中長期的な施策を講じている。その一環として、国土交通省は2014年度から一部の直轄工事で誰もが使いやすい快適トイレの設置をモデル的に実施してきた。さらに、今年10月1日以降に入札手続きを開始する直轄土木工事から本格的に導入することで、現場で働く人たちの職場環境の改善を図る。

狭い・臭い・汚いが「当たり前」の「常識」となってしまう建設現場の仮設トイレ。毎日使うからこそ快適にすることで、夏場に水分補給を控えたり、冬場はトイレを我慢したりするなどの不便を解消し、安心して仕事ができる環境にしたいと考えた。

今回の原則化では、快適トイレの設置費用が1基につき月額4万5000円を上限に、男女別で設置する場合は2基まで計上できるなど、国土交通省の本気度がうかがえる。その一方で、トイレメーカーやレンタル会社側による供給が追いついていない実情も。供給側の開発支援や保管スペース確保などの問題をどう解決し、供給拡大に結び付けるかが、快適トイレ普及のカギとなりそうだ。

国土交通省は今年中にも、標準仕様を満たす快適トイレの事例集を作成。全国の自治体に同様の取り組みが広がることで、全ての工事現場に快適トイレが設置され、誰もが働きやすい職場環境づくりにつながることを期待している。

◇ ◇
原則化を進める側の狙い、仮設トイレに対する現場の声、メーカー・レンタル会社の取り組みを取材した。（上田倫子、石川正和）

建設現場のトイレが変わる!!



国土交通省 大臣官房 技術調査課
事業評価・保全企画官 榎谷 有吾 氏

寄稿

建設現場は人々の生活に深く関わる社会インフラを整備し、自然そのものを対象とした屋外生産という特性を有し、国土形成に大きく寄与する魅力溢れる産業です。一方で、屋外生産であるが故に、労働環境の改善は今後の担い手確保に向けても重要な課題となっており、建設現場のトイレ環境も改善すべき一つです。

仮設トイレの改善に向けた試行
現在、公共施設や商業施設の下

「トイレが変わるチャンスだ。建設現場で進むトイレ快適化の動きについて、NPO法人日本トイレ研究所の加藤篤代表理事はこう強調する。」

建設現場で使われる仮設トイレはレンタル・リースが中心のため、それらが変われば、災害時の避難所などに持ち込まれる仮設トイレも変わっていくことが期待される。「建設現場のトイレが良くなることで、避難所のトイレも良くなり、また地域のイベントで使用されるトイレも綺麗になる。誰もがどこでも快適にトイレを使うこ

トイレを良くすることは、 そこで働く人を大切にすること



NPO法人 日本トイレ研究所
代表理事 加藤 篤 氏

とができるようになる。」
日本トイレ研究所は、トイレの改善を通して社会をより良くしたいという思いから1986年に活動を開始し、2009年に法人化した。子どもたちのトイレ環境の教育や災害時のトイレ環境改善などを中心に活動し、2015年からは国土交通省と共同で「建設現場」でもトイレの改善を訴えてきた。加藤氏は「建設現場は地域を担っており、復興の担い手でもある。建設現場のトイレを良くすることは、そこで働く人たちが安心して仕事をすることにつながり、現場で働く人を大切にするところからトイレを変

えることになる」と万説。「小さいけれども象徴的な職場改善の一つがトイレだ」と訴える。
災害時の避難所に設置される仮設トイレは阪神淡路大震災から東日本大震災まで、大きな改善が見られていない。仮設トイレに対する汚い、使いづらいのは当たり前という常識が根付いており、誰も改善を訴えてこなかったからだ。と加藤氏。だが、綺麗なトイレを使いたいという願いは決して贅言なことではない。

「今回の原則化は国土交通省が行うものだが、地域が連動して行うことが重要だ。都道府県や市町村が快適トイレの原則化に賛同し、基

準に乗ったトイレ以外は使用しないようにすることで、質の良いトイレが増え、自治体の防災力も高まるはず」と期待を寄せる。人を集めたい場所ではトイレを変えようと良い。百貨店やデパートがトイレの改装に力を入れるのも、そのための。最近では、鉄道の駅や高速道路のサービスエリアにまで「常設」のトイレを設けている。そうした「常設」のトイレを超える快適な仮設トイレを増やすことで、これまでの「汚い、使いづらい」といったマイナスイメージを払拭できるか、環境改善への挑戦は続く。

た。

快適トイレの導入

そこで、建設現場に導入する仮設トイレを「快適トイレ」と名付け、現場のニーズを踏まえ、次の仕様を最低限求めることとした。

- ①洋式便座、②水洗機能（簡易水洗も含む）、③臭い逆流防止機能（必要に応じ消臭剤等活用し臭い対策を取る）、④容易に開かない施錠機能（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）、⑤照明設備（電源がなくても良いもの）、⑥衣類かけ等のフック付き又は荷

物置き場の設備付き（耐荷重5kg以上）
さらにトイレをより快適に利用できるよう、受注者の責任として入口の目隠し板や鏡付き洗面台を設置することとする。

また、現時点で一般的な仮設トイレの流通状況から、標準仕様と規定することは困難ですが、将来的に標準とできることを期待して「推奨する仕様」も定めました。詳細は国土交通省HPをご確認ください。

設置した場合は基準まで計上することとします。

建設現場のトイレが変われば災害時のトイレも変わる

建設現場の仮設トイレは、災害時の避難所等にも活用されています。避難所での生活を余儀なくされる方々の中には、ケガや病気で身体的に和式トイレの使用が困難であったり、衛生面で精神的に苦痛を感じる人も多く、トイレの改善は切実な願いです。

建設現場の仮設トイレが変わることにより、避難所のトイレも変わるなど、多くの効果が期待されています。

快適トイレの標準仕様	
1. 快適トイレに求める標準仕様	①洋式便座 ②水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置を含む） ③臭い逆流防止機能（フラッパー機能）（必要に応じ消臭剤等活用し臭い対策を取る） ④容易に開かない施錠機能（二重ロック等）（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの） ⑤照明設備（電源がなくても良いもの） ⑥衣類掛け等のフック付または荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上）
2. 快適トイレとして活用するために備える付属品	⑦現場に男女がいる場合、男女別の明確な表示 ⑧入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含めて入口が直接見えないような配置等） ⑨サニタリーボックス（女性専用トイレに限る） ⑩鏡付きの洗面台 ⑪便座除菌シート等の衛生用品
3. 推奨する仕様、付属品	⑫室内寸法900×900mm以上（半量程度以上） ⑬擬音装置 ⑭フィッティングボード ⑮フラッパー機能の多重化 ⑯窓など室内温度の調整が可能な設備 ⑰小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場）

株式会社 BSK (ビー・エス・ケイ)

大阪府豊中市寺内 2-9-5-105 TEL 06-6863-8400

これから
の仮設トイレを
つくる会社

建設現場の快適なトイレは
女性たちのさらなる活躍を
生むだけでなく、事故防止、
効率化、コストダウンにも
つながります。

女性目線で考えたうれしい機能が満載

- 室内寸法 W920×D1023×H2050 (mm) (W865×D1020×H2050)
- 広い室内 0.94 平米 (0.88 平米)
- コートフック (オプションで10kg 荷重まで対応)
- 自然光を取り込む明るい室内
- 女性用ドア透明板&レッドライン
- 便座除菌クリーナー
- 掃除セット・ダストボックス
- 音消し(流水音が流れます)
- 棚付きWペーパーホルダー
- 収納かこ

大容量 450 l のタンク

給水・汲取が簡単！嫌な臭いが室内に入りません
内開きドアで安全で狭い場所に設置可能

当社独自のトリプル防臭機能で
いやな臭いもシャットアウト！

洋便器にフラッパー付の防臭板を採用。汚水タンクの臭いを室内に入れません。いやな臭いを大幅に抑制しますので、快適にご利用頂けます。さらに新幹線のトイレの様にコンパクトで設備は抜群。手洗付きて、室内にはLEDセンサーライトを採用。消し忘れる事もなく省エネです。汲取りは側面の汲取りタンクの蓋を外して汲取りをします。簡単コンパクトで便利な快適なトイレです。

道路交通法の定める積載制限高に対応！

クリップ操作で屋根の部分が下ろせます。屋根を下せば軽トラックでも積載制限高以内で走行可能（積載制限高は2.5m以内）トラックのあたりを下下げれば積んだまま使用可能。スペースの狭い荷台でも安全な内開きのドアを採用。オプションで梯子をつける事も出来ます。

コンパクトトイレS

トラックに積んだまま使用できる車載トイレ

室内寸法：W940×D1280×H1730 ～ 2000 (mm)

10キロ荷重対応フックを標準装備

TOILET NIPPON
世界をもてなすトイレプロジェクト2020
http://toilet-nippon.jp/

災害用トイレガイド
災害用トイレ・衛生製品の選び方
http://www.toilet.or.jp/toilet-guide/

日本トイレ研究所

特定非営利活動法人 日本トイレ研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMC ビル新橋 9F
http://www.toilet.or.jp/

大中央電設工業 株式会社

代表取締役 長 町田 喜義

〒391-0213 長野県茅野市豊平1872
TEL 0266 (82) 2233
FAX 0266 (82) 3200

株式会社 大橋今右衛門

代表取締役 長 大橋 直子

〒503-1384 岐阜県養老郡養老町下笠476-1
TEL 0584 (35) 2032
FAX 0584 (37) 2800

幸和リース 株式会社

代表取締役 福田 幸一

〒016-0179 秋田県能代市浅内字横道19-1
TEL 0185 (54) 3258
FAX 0185 (54) 8397

株式会社 ビスダックジャパン

代表取締役 橋詰 出

〒587-0022 大阪府堺市美原区平尾2392
TEL 072 (361) 8880
FAX 072 (361) 9318

きれいなトイレを



「女性用が良くなることで、男性用も良くなってくればいい。男性用でも除菌シートがあるだけで気持ちが違ってくる」と期待をのぞかせた。

【関東地整】千葉県市川市の「田尻高谷改良その27工事」では国土交通省のモデル工事として女性専用トイレを設置。歩道近くには設置しているため、一般の人にも開放している。

トイレの便座は洋式で、鍵は重ロック、中には着替えができるフittingsボードや洗面台、鏡、便座除菌クリーナー、2連ペーパーホルダーがついている。広さも十分あり、従来の仮設トイレとは雲泥の差。

現場で警備の仕事をする初芝由美子さん（サンエス警備保障株式会社）は「ゆったりして快適」と話す。これまでトイレが男女一緒の工事現場では、現場近くのコンビニエンスストアや公衆トイレなどを利用していただと言いつつ、人が並んでいたりと、前に入っていた人とも後ろで並んでいる人とも、お互い気まずかったりするところからトイレを我慢することもあった。

一方、男性用のトイレは大小が別ではあるものの和式で狭い。菅谷友和現場代理人（株式会社デクト）は「まだまだ快適トイレそのものが少なく、リース料も高い。今後増えることで安くなり、男性用も同じように変わってくれば」と話す。

永井利明現場代理人（株式会社東京鐵骨橋梁）は「女性用が良くなることで、男性用も良くなってくればいい。男性用でも除菌シートがあるだけで気持ちが違ってくる」と期待をのぞかせた。

【関東地整】千葉県市川市の「田尻高谷改良その27工事」では国土交通省のモデル工事として女性専用トイレを設置。歩道近くには設置しているため、一般の人にも開放している。

トイレの便座は洋式で、鍵は重ロック、中には着替えができるフittingsボードや洗面台、鏡、便座除菌クリーナー、2連ペーパーホルダーがついている。広さも十分あり、従来の仮設トイレとは雲泥の差。

現場で警備の仕事をする初芝由美子さん（サンエス警備保障株式会社）は「ゆったりして快適」と話す。これまでトイレが男女一緒の工事現場では、現場近くのコンビニエンスストアや公衆トイレなどを利用していただと言いつつ、人が並んでいたりと、前に入っていた人とも後ろで並んでいる人とも、お互い気まずかったりするところからトイレを我慢することもあった。

一方、男性用のトイレは大小が別ではあるものの和式で狭い。菅谷友和現場代理人（株式会社デクト）は「まだまだ快適トイレそのものが少なく、リース料も高い。今後増えることで安くなり、男性用も同じように変わってくれば」と話す。

永井利明現場代理人（株式会社東京鐵骨橋梁）は「女性用が良くなることで、男性用も良くなってくればいい。男性用でも除菌シートがあるだけで気持ちが違ってくる」と期待をのぞかせた。

「男女ともに快適に使用できる」と銘打った快適トイレ。実際に建設現場で働く人たちは現場のトイレをどう思っているのか。工事現場で話を聞いた。



未来のためにこの動きを広げていこう

現場係員の塩瀬奈保美さんは「女性が動きやすい現場は男性も動きやすいはず。『女性のために』ではなく『女性がきっかけ』になれば」と話。



【安藤・間】「最近、当社の現場ではこのタイプのトイレが増えているんです」と話すのは、株式会社安藤・間の女性活躍推進担当者。

都内のある工事現場に設置されている仮設トイレは、大便器の個室と小便器が組み込まれたユニットハウスの状態で現場に運ばれてくる。仮設トイレとは思えない広さがあり、外観は一見、事務所にも見える。便座もウォッシュレット付きだ。

同社では日本建設業連合会が提唱する『けんせつ小町』が動きやすい現場環境整備マニュアルを参考に、工事現場における仮設トイレを含む現場環境の整備を推進。社内で独自の基準を設けており、同社の女性職員がいない現場でも女性用トイレが設置される。男女ともこのタイプのトイレが設置される場合もあり、女性用のトイレでは小便器の部分をうまく隠し、着替えが出来るスペースに変えるなど、現場の工夫もされている。



現場監督でもある岩崎さんは「現場で働く女性にとってトイレは重要なんです」と指摘。総合所長の早坂淳子さんも「今後は高層の現場でなかなか下に降りてくることができない女性のため、躯体上階の中にも女性用のトイレを設置することが課題」と話。

【長谷工】建設現場にも女性が増えていきます。子どもたちの将来の夢の一つになってくれたら嬉しいな。株式会社長谷工コーポレーションの岩崎夕佳さんはそう期待する。

同社では、7月29日に女子小学生と保護者を対象にした「けんせつ小町現場見学会」（日本建設業連合会主催、現場名：（仮称）H C大成有楽補和駒場計画新築工事）を開催し、親子23人が参加。普段は入ることができない建設現場内を見学した。こどもも快適トイレが女性たちの活躍を支えている。現場で働く90人の職方のうち16人が女性。現場監督は全員女性だ。現場横には女性用の更衣室・化粧室を兼ねた休憩室でトイレが完備されており、同社の中でも「環境整備が」進んでいる現場だといふ。

現場監督でもある岩崎さんは「現場で働く女性にとってトイレは重要なんです」と指摘。総合所長の早坂淳子さんも「今後は高層の現場でなかなか下に降りてくることができない女性のため、躯体上階の中にも女性用のトイレを設置することが課題」と話。

【長谷工】建設現場にも女性が増えていきます。子どもたちの将来の夢の一つになってくれたら嬉しいな。株式会社長谷工コーポレーションの岩崎夕佳さんはそう期待する。

同社では、7月29日に女子小学生と保護者を対象にした「けんせつ小町現場見学会」（日本建設業連合会主催、現場名：（仮称）H C大成有楽補和駒場計画新築工事）を開催し、親子23人が参加。普段は入ることができない建設現場内を見学した。こどもも快適トイレが女性たちの活躍を支えている。現場で働く90人の職方のうち16人が女性。現場監督は全員女性だ。現場横には女性用の更衣室・化粧室を兼ねた休憩室でトイレが完備されており、同社の中でも「環境整備が」進んでいる現場だといふ。

現場監督でもある岩崎さんは「現場で働く女性にとってトイレは重要なんです」と指摘。総合所長の早坂淳子さんも「今後は高層の現場でなかなか下に降りてくることができない女性のため、躯体上階の中にも女性用のトイレを設置することが課題」と話。



現場係員の塩瀬奈保美さんは「女性が動きやすい現場は男性も動きやすいはず。『女性のために』ではなく『女性がきっかけ』になれば」と話。

【鹿島】東京都港区にある鹿島建設株式会社の工事現場。ここには女性専用のトイレは設置されておらず、現場で働く女性たちは敷地内にある事務所のトイレを使用している。

「現場のトイレを使おうと思ったことがない」と口をそろえるのは、中村麻耶さんと屋野明日香さん。「建設業界が男社会だと思っに入ってきたので、女性専用がないのが当たり前だと思っただけ」と話す。現場のトイレは使っていないという。女性がいると綺麗にしようとは考えているけど、「苦痛」を覚える。同社は女性の声を活かして現場の職場環境を改善する「鹿島たんぽぽ活動」を行っており、現在3つの工事現場に女性専用スペースパウダールームを設置。今後は全国の現場に積極的に展開していく予定だ。

「まだまだ女性がない現場も多いので、『女性のために』と言われるのを少し嫌かな。ただ、これから建設業界に入ってくる人たちのためにも綺麗な環境になることはいいことだ」と岩崎さんは話す。

【鹿島】東京都港区にある鹿島建設株式会社の工事現場。ここには女性専用のトイレは設置されておらず、現場で働く女性たちは敷地内にある事務所のトイレを使用している。

「現場のトイレを使おうと思ったことがない」と口をそろえるのは、中村麻耶さんと屋野明日香さん。「建設業界が男社会だと思っに入ってきたので、女性専用がないのが当たり前だと思っただけ」と話す。現場のトイレは使っていないという。女性がいると綺麗にしようとは考えているけど、「苦痛」を覚える。同社は女性の声を活かして現場の職場環境を改善する「鹿島たんぽぽ活動」を行っており、現在3つの工事現場に女性専用スペースパウダールームを設置。今後は全国の現場に積極的に展開していく予定だ。

「まだまだ女性がない現場も多いので、『女性のために』と言われるのを少し嫌かな。ただ、これから建設業界に入ってくる人たちのためにも綺麗な環境になることはいいことだ」と岩崎さんは話す。



建設現場で働く全ての人のために より快適なトイレを提供したい

コマツ

メーカーの先駆的な取り組み、それに込められた思い

日野興業株式会社

国内で初めて仮設トイレの製造・販売を手掛けた日野興業株式会社は、女性活躍推進の動きを捉え、いち早く女性専用仮設トイレの開発を手掛けた企業だ。

同社営業企画部の谷本百郎部長は、「仮設トイレを良くしようという動きが、一過性のものになってはいけなく、重要なのは継続すること。今は行政や業界が望む仮設トイレを製造・レンタルできるメーカーは少ないが、継続することによって間違ひなく広がっていく」。

また変化していくスピードも大事だと言いつつ、従来のものから快適な仮設トイレへ変えることに伴うメーカー・レンタル業者の負担は大きい。良い動きだからこそ、迅速かつ慎重に、行政・業界・メーカーが、それぞれの立場や実情を理解し合い、職場環境の改善につながる、建設現場のトイレの改善に取り組んでいくことが必要ではないか」と熱く語る。

女性専用仮設トイレの開発にあたり「実際に使用する現場の人の声を広く集めた」と、商開発課の熊本好美さん。「女性が生き生きと働くことが出来るために、私たちにできることがあるならば、その声を聞かせてほしい」とさらなる改善を目指している。利用する人の思いに寄り添った開発者の温かさが、同社の商品にも感じられた。

「コマツは建設機械のメーカー。建設業の問題は、私たちの問題でもある。工事現場をより魅力的な職場にするために、仮設トイレを快適にするところから始め、人材不足の解消に少しでもつながれば」との使命感から開発に取り組んでいる。

昨年8月に内閣府主催の「日本トイレ大賞」を受賞したコマツは、子会社のコマツレンタル株式会社を通じて女性用トイレの普及に先駆的に取り組んできた。

開発のきっかけは東日本大震災だ。同社は、震災復興支援として建設機械や仮設ハウスの無償貸与等を行いつつ、復興における人材不足を解消するため、宮城県に建設機械のオペレーターを育成する教育所を新設した。人材不足の解消に女性の活躍は欠かせないとの考えから、教育所に託児室等を準備して、女性の受講者を集めた。その後、ワーキングチームを発足し、女性が働きやすい環境作りのために、何が出来るかの調査・研究を進め、建設現場のトイレ改善に取り組む。

国内販売本部の島本伸之業務統括室長は「現場で活躍する女性の様々な意見を取り入れた」と話す。さらに、商品をあらゆる工事現場に設置してもうためコストを抑えることに注力した。「トイレ製造メーカーの協力を受けて、アイデアをひねり出した」と、完成に至るまでの困難な道のりを振り返る。

「コマツは建設機械のメーカー。建設業の問題は、私たちの問題でもある。工事現場をより魅力的な職場にするために、仮設トイレを快適にするところから始め、人材不足の解消に少しでもつながれば」との使命感から開発に取り組んでいる。

昨年8月に内閣府主催の「日本トイレ大賞」を受賞したコマツは、子会社のコマツレンタル株式会社を通じて女性用トイレの普及に先駆的に取り組んできた。

開発のきっかけは東日本大震災だ。同社は、震災復興支援として建設機械や仮設ハウスの無償貸与等を行いつつ、復興における人材不足を解消するため、宮城県に建設機械のオペレーターを育成する教育所を新設した。人材不足の解消に女性の活躍は欠かせないとの考えから、教育所に託児室等を準備して、女性の受講者を集めた。その後、ワーキングチームを発足し、女性が働きやすい環境作りのために、何が出来るかの調査・研究を進め、建設現場のトイレ改善に取り組む。

国内販売本部の島本伸之業務統括室長は「現場で活躍する女性の様々な意見を取り入れた」と話す。さらに、商品をあらゆる工事現場に設置してもうためコストを抑えることに注力した。「トイレ製造メーカーの協力を受けて、アイデアをひねり出した」と、完成に至るまでの困難な道のりを振り返る。

「コマツは建設機械のメーカー。建設業の問題は、私たちの問題でもある。工事現場をより魅力的な職場にするために、仮設トイレを快適にするところから始め、人材不足の解消に少しでもつながれば」との使命感から開発に取り組んでいる。

昨年8月に内閣府主催の「日本トイレ大賞」を受賞したコマツは、子会社のコマツレンタル株式会社を通じて女性用トイレの普及に先駆的に取り組んできた。

開発のきっかけは東日本大震災だ。同社は、震災復興支援として建設機械や仮設ハウスの無償貸与等を行いつつ、復興における人材不足を解消するため、宮城県に建設機械のオペレーターを育成する教育所を新設した。人材不足の解消に女性の活躍は欠かせないとの考えから、教育所に託児室等を準備して、女性の受講者を集めた。その後、ワーキングチームを発足し、女性が働きやすい環境作りのために、何が出来るかの調査・研究を進め、建設現場のトイレ改善に取り組む。

国内販売本部の島本伸之業務統括室長は「現場で活躍する女性の様々な意見を取り入れた」と話す。さらに、商品をあらゆる工事現場に設置してもうためコストを抑えることに注力した。「トイレ製造メーカーの協力を受けて、アイデアをひねり出した」と、完成に至るまでの困難な道のりを振り返る。

「コマツは建設機械のメーカー。建設業の問題は、私たちの問題でもある。工事現場をより魅力的な職場にするために、仮設トイレを快適にするところから始め、人材不足の解消に少しでもつながれば」との使命感から開発に取り組んでいる。

建設機械のコマツがトイレメーカーと共同で、女性が活用しやすいトイレを開発しました。

快適な現場は、快適なトイレから

全ての現場に「快適トイレ」を

現場で働く女性の声を集め、形にした快適なトイレです。

女性に必要なスペースを確保!!

簡易型

タンク式

主な仕様

①暖房便座

②コンセント付

③3連小物掛け

④フittingsボード

⑤センサーLED照明

⑥ダブル紙巻器

⑦擬音装置

⑧便座除菌クリーナー

⑨手洗器

⑩化粧鏡

⑪2重鍵

サイズ：W1470×D1160×H1783 重量：約120 kg

格別の快適空間を演出!!

都市型

上下水道直結式

主な仕様

①温水洗浄付暖房便座

②コンセント2ヶ所

③3連小物掛け

④フittingsボード

⑤LED照明(各部屋1ヶ所)

⑥ダブル紙巻器

⑦擬音装置

⑧便座除菌クリーナー

⑨手洗器(センサー式自動水洗)

⑩LEDライト付ハイクオリティ化粧鏡

⑪2重鍵

サイズ：W2036×D1451×H2478 重量：約350 kg

現場に溶込むスタイリッシュな コマツオリジナルデザイン!

「快適トイレ」はコマツレンタルが提供します。(レンタル専用となります。)

レンタルのご用金はコマツレンタル各店舗まで。

http://www.komatsu-rental.co.jp

人と地球にやさしい環境づくり

仮設が現場を変えろ!

全ての人が快適に使える仮設トイレを目指します

国交省発表『快適トイレ』仕様対応

Flower Toilet[®] LXシリーズ

建設現場や野外イベントなどで、女性が安心・快適に使える仕様です。洋式便器、除菌クリーナーなどが標準装備となっています。

Flower Toilet[®] Bloom

ハイグレードなハウス型レストルーム

SEKISUI HOUSE × Hino Kogyo

積水ハウスとの共同開発。今までになく使い心地のよい女性のための仮設トイレを目指した製品です。

おもてなしトイレ WGXシリーズ

オールインワンのレストルーム

LXシリーズの2倍のスペースを実現した女性男性を問わずお使い頂けるタイプ。オプションも充実しておりますのであらゆるニーズに対応できます。

ルーバーフェンス

目隠しフェンス用パネル

仮設トイレの出入り口を視界から遮る為のガラリ型フェンス。錆びや腐食に強く、軽くて丈夫な樹脂製パネル。

「2. 快適トイレとして活用するために備える付属品」対策商品

お問い合わせは

日野興業株式会社

営業企画部 営業企画課

〒272-0004 千葉県市川市原本3024番地

TEL 047-318-8761 FAX 047-318-8758

URL http://www.hinokogyo.co.jp

支店：東京・仙台・埼玉・名古屋・大阪

営業所：札幌・盛岡・秋田・山形・郡山・宇都宮・長野・新潟・茨城・神奈川・静岡・三岐・神戸・京滋・岡山・広島・山口・高松・徳島・高知・松山・福岡・西九州・宮崎・鹿児島